お客さまへ

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告 ⚠注意 の表示で区分して、説明しています。表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

禁止	絶対に行わないでください。	厳守	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。（火災・感電・落下の原因）	禁止	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。（火災・感電の原因）
禁止	器具やランプを布や紙などで覆わない。（可燃物をかぶせて使うと火災の原因）	禁止	近接限度内にドアや、家具などの可燃物を近づけない。（器具の照射面は高温になり、火災の原因）

⚠注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	お客様自身で電気工事しない。電気工事士の資格が必要です。（火災・感電の原因）	禁止	被照射物を約１０ｃｍ以内に近づけない（被照射物の変色・変形の原因）
禁止	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。（過熱して火災の原因）	禁止	節電その他の理由でランプを取りはずして間引き点灯しない。
禁止	光を直視しない。（長時間直視すると目を痛める原因）	禁止	ランプは落としたり、（物を）ぶつけたり、無理な力を加えない。（ランプが破損してけがの原因）
禁止	ランプに塗料などを塗らない。（ランプが過熱・破損してけがの原因）	厳守	明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行う。

●照明器具には寿命があります。設置して８～１０年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
ＬＥＤ光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません
※使用条件は周囲温度30℃、１日10時間点灯、年間3000時間点灯です。

●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
●３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙発火、感電などに至る恐れがあります。

器具の清掃

⚠警告 電源スイッチを切ってから行う。（感電の原因）

<器具のお手入れについて>
器具の汚れは、柔らかい布をうすめた中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。
シンナー、ベンジン、みがき粉やたわし、熱湯、アルカリ性洗剤、薬品などは使用しないでください。

⚠警告
点灯中及び消灯直後の器具には触らない。（高温とためやけどの原因）

知っておいていただきたいこと

○点灯、消灯時に部品の収縮、膨張により、きしみ音が発生する場合がありますが、異常ではありません。

保証について

■保証期間は商品お買い上げ日より１年間です。詳細は弊社カタログをご参照ください。

お　願　い

●ＬＥＤにはバラツキがあるため、器具内の個々のＬＥＤや同一形名の器具でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
●壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。ご了承ください。

異常時の処置

⚠警告
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合は、すぐに電源スイッチを切る。（火災・感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

三菱電機株式会社　〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
連絡先　三菱電機照明株式会社
☎(0467)41-2729（市販営業部）
☎(0467)41-2773（品質保証部サービス課）

MITSUBISHI

E769Z185H50
MI5-044

このたびは三菱照明器具をお買上げいただき、ありがとうございました。

保管用

三菱ＬＥＤ照明器具
LED専用SB形ダウンライト

形名 EL-DE1704C・EL-DE1705C

取扱説明書

○この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

施工者さまへ

○施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告 ⚠注意の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

禁止	絶対に行わないでください。	厳守	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの

禁止	引火する危険のある雰囲気で使わない。（ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカー、可燃性粉じんのある所で使わない。）（火災の原因）	禁止	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。（絶縁不良により感電・火災の原因）
禁止	器具取付けの際は電線を挟まない。（絶縁不良により感電・火災の原因）	禁止	取付面に凹凸があるところには付けない。（絶縁不良により感電の原因）
禁止	電源線は器具の外郭に直接触れない。（過熱して火災の原因）	厳守	施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程に従って行う。
禁止	器具に衝撃を加えない。（器具破損によるけがの原因）		

⚠注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	高温(35℃を超える)、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所で使わない。（落下・感電・火災の原因）	禁止	器具は乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。（絶縁不良やさびより感電・落下の原因）
禁止	さびの出やすい場所、腐食性ガスの出る場所で使わない。（劣化による落下の原因）	禁止	器具の外郭が天井内の造営材・ダクトに触れない。（火災・感電の原因）
禁止	表示された電源電圧以外では使わない。（火災・感電の原因）	禁止	狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。（器具が過熱して火災の原因）
禁止	風呂場など湿気の多い場所で使わない。（火災・感電の原因）		

お願い

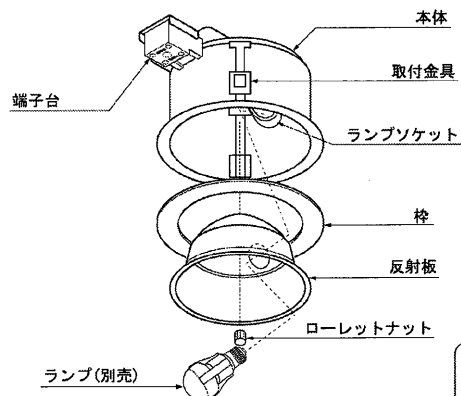
■温泉地など、硫黄成分を含む腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。光学特性等に不具合が発生する恐れがあります。
■油煙のある場所では使わないでください。光学特性が低下する原因となります。
■器具と半導体スイッチ式人感センサスイッチを組合せるとチラツキや騒音の発生、LED電球故障の恐れがあります。リレー接点式人感センサスイッチをご使用ください。
■器具の周囲温度が5～35℃の範囲で使用してください。

仕様

形　名	定格電圧	入力電流	消費電力	適合ランプ	口金
EL-DE1704C・EL-DE1705C	100V	0.1A	6.1W	LDA6L-G-E17(別売)	E17

E769Z185H50
MI5-044

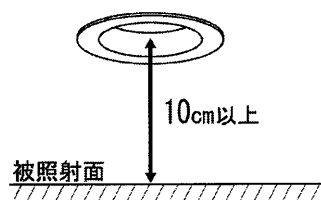
各部のなまえと取付けかた

⚠警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う。（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）

●サーモスタットが内蔵されています。
適合W数以上のランプを使用したり
高温雰囲気になりますと、サーモス
タットが働き、ランプが消灯します。

付属品

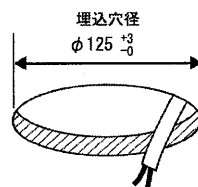
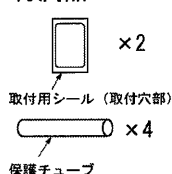
取付用シール（取付穴部）×2
保護チューブ ×4

⚠警告

器具と被照射面は10cm以上離してください。
火災の原因となります。

1. 取付前の確認

●器具質量(0.4kg)に十分耐えるよう取付部の強度を確保してください。
●補強材を入れる場合、天井内で動かないよう固定してください。

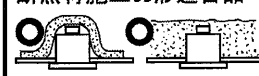
2. 天井に埋込穴をあける。

●指定埋込穴径φ125に対して+3,-0であけてください。

取付可能天井厚　1～23mm

断熱材をご使用の場合

●この照明器具は、(一社)日本照明工業会SB形ダウンライト適合品です。
ブローイング工法により断熱施工された天井にそのまま取付けられます。

マット敷工法
断熱材の種類
●住宅用グラスウール断熱材相当品
(JIS A9522)
●住宅用ロックウール断熱材相当品
(JIS A9521)

ブローイング工法
断熱材の種類
●吹込み用セルローズファイバー断熱材相当品
(JIS A9525)

断熱材施工SB形適合品

3. 電源線を端子台に接続する。

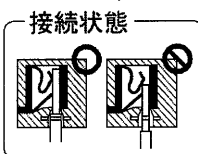
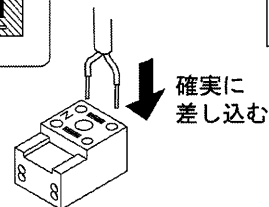
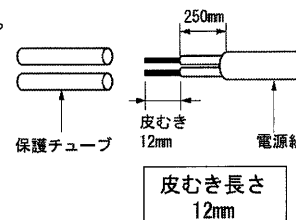
●電源線の線芯ごとに保護チューブを差し込んでください。

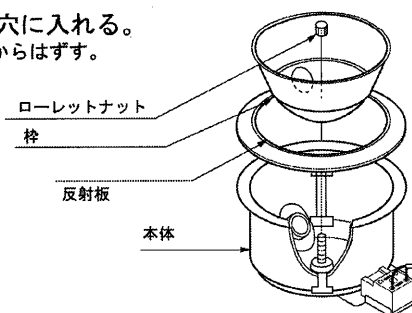
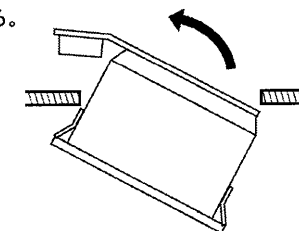
⚠警告
感電・火災の原因になります。

●電源線を端子台の差し込み穴に確実に差し込んでください。

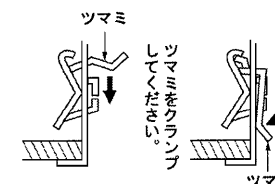
⚠警告
接続が不完全な場合、容量オーバーした場合
漏電・火災の原因になります。

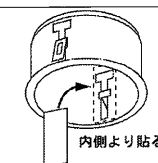
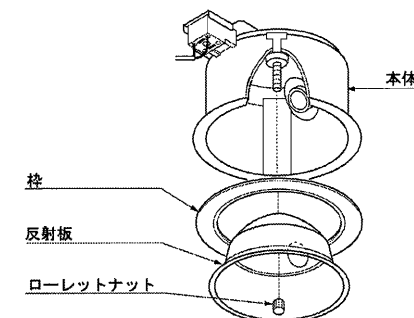
●端子台の送り総容量は、6Aです。
●適合電線 ： φ1.6単線
　　　　　 ： φ2.0単線

皮むき長さ
12mm

4. 本体を埋込穴に入れる。

●反射板を本体からはずす。

●本体を埋込穴に挿入する。

⚠注意
器具の外郭が天井内の造営物、ダクトに触れない
火災・感電の原因

5. 本体を固定する。

●取付金具のツマミを上げて
取付金具をゆるめる。
●取付金具を引き下げる。
●取付金具のツマミを下げて
本体を確実に固定する。

⚠注意
不完全取付は、器具落下の原因になります。

●器具付属の取付用シールを２ヶ所の
取付金具の上からしっかり本体に貼
付けてください。

6. 反射板をローレットナットで固定する。

7. ランプの口金部をランプソケットに合わせ、奥まで確実にねじ込む。